

## 我ら 50 期 ここにあり

### 3. 11 を忘れない

巨大地震と大津波による戦後最悪の自然災害と、福島第1原発事故の放射能汚染が東北を襲った東日本大震災は、今日で発生から10年を迎える。警察庁の10日現在のまとめで全国の犠牲者は死者1万5884人、行方不明者2633人の計1万8517人に上る。大津波にのまれた不明者の捜索は今なお続く。復興途上の被災地では、失われた命の冥福を祈り、希望をつなぐ行事が終日行われる。人間、自然、いのちについて、忙しい毎日ですが、立ち止まって考えてほしいと思います。



### 教室。

日常を形づくってきた教室の掲示物を片付けました。毎日の生活に節目とリズムをつけてくれていた後ろの黒板や掲示物たち。。。ありがとうございます。おかげで50期生の子どもたちは自分で考え、行動できる集団になってくれました。委員長、班長、各委員、各係、班員全員がどこかの場面で中心になり活躍してくれました。きれいな教室。みんなが学んだ教室。喧嘩した教室。ご飯を食べた教室。腹立った教室。笑った教室。もめた教室。4月からは、また違う生徒がこの教室で成長していくんですね。そのときはよろしく教室。ありがとうございます。さよなら教室。



### 次の自分へ行かなければ

～わかれ・分れ・解れ・判れ・別れ～

知れなかったことが明らかになる。理解することができて意味や内容が明らかになる。人の気持ちや物事の事情を理解できる。1つのものが2つ以上になる。物事の進む方向が二方に分かれること。主たるものから分かれ出たもの。一緒にいたものが離れ離れになる。出会いのはじまり。

### 1回しか放映されなかったCM

新たにみんなの前にボクが姿を現すときには 今とは違う 新しい何かを君たちに伝えることができたらいいと思う  
自分自身で物足りないものを感じていたし 何かあせって  
1つにまとまろうまとまろうとしている自分を感じ  
それがすごく歯がゆい思いだったし 伝えるにはいたらないと思って  
「愛」っていうものが こう 何ていうかな 欲望のように見える  
本当に大切だと思っていたのは やっぱり人間が知性を磨いていくこととか  
人間が感性を磨いていくこととか もっともっともっとその 何ていうかな  
若さゆえに 何も知らないがゆえに その純粋な分だけ それがあまりにも  
直接的に それが出過ぎた

尾崎 豊



### 保護者の皆様へ感謝の言葉

お子様のご卒業おめでとうございます。大切なお子様をお預かりして3年、ボクをこえていく子どもたちであるように、そのためにこそえられるだけの価値がある教師にと、自分たちにムチを打ってきました。何もできなかつたのではないか、子どもを駄目にしたのではないか、そんな想いがしきります。でも、私たちは私たちなりに精一杯やりました。手抜かりはなかつた。あの時ああしたらとは思う。しかし、その“あの時”私たちは、全力を尽くしていました。自分で精一杯やったと思うからこそ、自分のいたらなさや限界がやたらと目につく。だから私たちは弁解はしません。ただ、力の足りなさは子どもたちに心からわびたいと思います。色々ありましたが、子どもたちは悩み、苦しみ、考え、解決し、乗り越えてきました。毎日が勉強でした。私たちが子どもたちを通じてたくさんのこと学び、子どもたちと共に人間として大きく前進した3年でした。配慮も不充分で、いたらないところだらけでご意見やご不満もたくさんあったとは思いますが、温かく見守って下さってありがとうございました。この出会いに感謝しています。3年間、本当にありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。